美郷町クラウドファンディング型ふるさと応援事業補助金交付要綱

令和2年6月11日

美郷町訓令第50号

(趣旨)

第1条 この訓令は、団体又は個人（以下「団体等」という。）が創意工夫して実施する事業に対し、自己資金の調達を円滑にするため、町が実施するガバメントクラウドファンディングにより集まった寄附金を補助金として当該団体等に対して交付することに関し、補助金等の交付に関する規則（平成18年美郷町規則第48号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この訓令において、ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税制度を活用し、インターネット等を通じて広く不特定多数の人々から集める資金調達のことをいう。

(補助対象者)

第3条 補助対象者は、次の要件を満たすものとする。

- (1) 町内に事務所又は住所を有すること。
- (2) 美郷町暴力団排除条例（平成23年美郷町条例第19号）第2条第1号に規定する暴力団若しくは同条第2号に規定する暴力団員及び同条第3号に規定する暴力団関係者でないこと。
- (3) 事業提案団体等（任意の団体の場合は代表者）が町税及び町に納付義務のある料金を完納していること。

(補助対象事業)

第4条 補助金の対象となる事業は、美郷町ふるさと応援寄付金取扱要綱（平成21年美郷町訓令第21号）第2条第1号から5号のいずれかに該当する事業であり、且つ次に掲げる要件を全て満たすものとする。

- (1) 魅力あるふるさとづくりに資するものであること。
- (2) 町の活性化及び交流人口の増加を図るものであること。
- (3) 寄附金の使途として社会通念上、不適切であると判断される事業でないこと。

(補助金額等)

第5条 寄附金の補助金額は、ガバメントクラウドファンディングにより集まった寄附金から当該寄附金に係るふるさと納税ポータルサイトの利用手数料、町外の寄附者に対しての返礼品及び受領書の発送に要する経費相当額を差し引いた金額とする。ただし、その限度額は、第6条に掲げる収支予算書に記載された額とする。

(事業の認定)

第6条 ガバメントクラウドファンディングにより寄附金を集めようとする団体等は、

次に掲げる書類を町長に提出しなければならない。

- (1) 事業認定申請書（様式第1号）
- (2) 事業計画書（様式第2号）
- (3) 収支予算書（様式第3号）
- (4) その他町長が必要と認める書類

2 町長は、前項の規定による事業計画書の提出があったときは、事業の認定の適否を決定し、事業認定（不認定）通知書（様式第4号）により当該事業の認定の適否を事業認定申請者に通知するものとする。

3 事業認定を受けた団体等（以下「事業認定団体等」という。）は、ガバメントクラウドファンディングにより集まった寄附金が目標金額に達しない場合においても、当初の事業計画の変更又は縮小等により、当該事業を実施しなければならない。

（寄附の募集）

第7条 町長は、前条第2項の規定により事業を認定したときは、町ホームページにおいて寄附金を募集すると同時に、ふるさと納税ポータルサイトに掲載しなければならない。

（寄附金額の通知）

第8条 町長は、寄附金の募集期間が満了し、寄附金額が確定したときは、寄附金額確定通知書（様式第5号）により事業認定団体等にその金額を通知しなければならない。

（交付申請）

第9条 事業認定団体等は前条の規定による通知を受けたときは、規則第3条に規定する交付申請書に、次に掲げる書類を添えて町長に提出しなければならない。

- (1) 事業計画書（様式第2号）
- (2) 収支予算書（様式第3号）

（交付請求）

第10条 補助金の交付を受けようとするときは、補助金交付請求書（様式第6号）を町長に提出するものとする。

（実績報告）

第11条 規則第14号第1項の規定による実績報告は、補助事業実績報告書に次の書類を添えて、事業完了後速やかに町長に提出しなければならない。

- (1) 事業実績書（様式第7号）
- (2) 収支決算書（様式第8号）

（実績の公表）

第12条 町長は、前条による実績の報告があったときは、町ホームページ等によりその概要を公表しなければならない。

（その他）

第13条 この訓令に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、令和2年6月11日から施行する。